



3月4日

熊毛小に響くさわやかなメロディー

熊毛小学校体育館でクラシックコンサートが開かれ、全校児童50人がバイオリンやチェロによる生演奏を楽しみました。クラシック音楽の普及を目的に県芸術文化振興財団などが主催する「文化キャラバン」の一環で、県内の演奏家3人がクラシックの名曲や春をテーマにしたメドレーをはじめ、校歌を合唱しました。

また、チェロやバイオリンの演奏にも挑戦し、音色が出ると児童たちは笑顔でいっぱいになりました。



3月11日

市内から4名 自衛隊入隊者 激励会

国東市自衛隊入隊者激励会がアストくにさきで開催され、新入隊者と保護者、自衛隊や関係者など約35人が参加しました。三河市長や清國市議会議員、自衛隊大分地方協力本部の黒丸逸朗本部長が激励し、入隊者を代表して荒木拓巳さん(国東町鶴川)が、「立派な隊員になれるよう訓練にがんばります」と謝辞を述べました。

入隊者は今春高校を卒業した4人で、4月から別府駐屯地で訓練を開始し、陸上自衛隊で活動することになっています。



ま ず の 話 題

3月20日

七島蘭資料館オープン 表織りセミナーの 卒業式も開催



七島イの魅力を発信しようと、安岐町富清に資料館「七島蘭學舎」がオープンしました。七島イの歴史や栽培方法の解説、昔の織機が展示されています。式典でくにさき七島蘭振興会の林浩昭会長が、「七島イが注目を浴びてきました。これからも良い品を作っていきましょう」とあいさつしました。

この日は、表織りセミナー(国東雇用創出曼荼羅)の卒業式も行われ、織り子を目指して研修を重ねてきた4人に林会長が卒業証書を渡し、代表の小田まゆみさんが「ご指導に感謝します。七島イ発展のために努力します」と感想を述べました。

3月21日

ユーモラスな舞に 笑いの渦 御田植祭



安岐町明治の諸田山神社で、五穀豊穡や氏子繁栄を祈る伝統行事「諸田山神社御田植祭」(県指定無形民俗文化財)が行われました。

この祭りは、境内を水田に見立てて畦塗りや代掻き、投苗など田植えの様子を再現します。また、出演者はそれぞれの役にあわせて羽織・袴や白装束を着たり、早乙女や花嫁に扮しています。顔には墨や紅・緑の顔料でユニークな化粧を施しており、見ているだけで心が和みます。

代掻きの牛が暴れまわったり、種もみが重く派手に転倒したりとユーモラスな演技の連続で、多くの観客を笑いの渦に巻き込みました。



3月1日

国東半島 アートプロジェクト が開幕

国東市と豊後高田市を舞台にした現代芸術イベント「国東半島アートプロジェクト」(国東半島芸術祭実行委員会主催)が23日まで開催されました。この日、国見町千燈の不動茶屋でオープニングセレモニーが行われ、実行委員会や地元千燈地区のみなさんが参加しました。

期間中の週末はバスツアーも実施され、五辻不動尊の近くに設置された国際的彫刻家アントニー・ゴームリー氏(英国)の人体像や旧千燈寺跡などに、県内外から多くの見学者が訪れました。

3月2日

ありがとう 大恩こども館 47年の歴史に幕

国東町大恩寺の大恩こども館で、閉館記念式典が行われました。大恩こども館は昭和41年に大恩児童館として開設され、平成18年に現在の名称となり、これまで392人の子どもが自然に恵まれた環境でのびのびと育っていききました。

式典では、歴代館長や卒業生、最後の館児となった子ども達が、思い出や感謝の気持ちを発表し、名残を惜しみました。



3月3日

やったね!「国中 TIMES」2年連続総理大臣賞

第63回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで、国東中学校新聞委員会が発行する「国中TIMES」が、昨年度に続き最高賞の内閣総理大臣賞に選ばれました。

体育館で行われた伝達式では、後期新聞委員長の利村日向子さんに賞状が、前期委員長の吉崎友哉君にカップが渡されました。利村さんは「みんなでがんばって記事を書いてよかった。全校生徒や保護者、地域の方々に愛される学校新聞の伝統を、後輩たちに受け継いで欲しい」と感想を述べました。



国東高校部活動 全国大会出場報告

3月4日

国東高校の部活動(柔道部、弓道部、工業技術部、将棋部)の生徒16人が、全国大会に出場した結果を三河市長に報告しました。市長が「みなさんの日頃の努力が全国大会出場という素晴らしい結果につながったのだと思います」とお祝いのことばを述べました。

また、「全国高等学校柔道選手権大会」(3月20日~21日・日本武道館)に出場する柔道部員を代表して、阿部将一郎君が力強く決意表明をしました。

